



人力車 花鳥風月～秩父～

ひろがる、ちちぶ

VOL.4

2025年10月発行

私が
お届けします！



地域おこし協力隊
ふるさと納税担当 那賀

秩父市ふるさと納税 返礼品提供事業者さんにインタビュー《ヒト・モノ・コト便り》

俣夫 坂本典明さん お話ししました！



事業を始めたきっかけ

僕は葛飾区の出身なのですが、祖父が秩父に住んでいたため、小さい頃からよく遊びに来ていました。祖父は礼所の先達をやっていたので、礼所にも連れて行ってもらいました。人力車は大学生の頃に浅草でアルバイトをしたのが始まりで、辞めた後も「人力車ロス」になるくらい好きだったんです。2014年に祖父の介護がきっかけで秩父に住み始めました。秩父は礼所や神社、歴史もあるので人力車が合うなと思っていました。

2016年に皆野町にある「リトリートフィールドMahora稲穂山」の場所をお借りして、手作り結婚式を挙げたとき、アルバイト時代の上司に人力車を持ってきてもらえないかとお願いしました。その時上司に話をしたらのがきっかけで、のれん分けという形で秩父でやらせてもらうことになりました。祖父には色々面倒を見てもらって感謝しているので、恩返しというか、秩父のために何かしたいと思い人力車を始めました。人力車以外にも秩父を盛り上げるため、様々な活動に取り組んでいます。

人力車への想い

秩父は名物や名所があちこちにあるので、どう楽しめばいいかわからなくなってしまう方もいます。例えば、目的が「ラビュ」に乗りに来た」という方が結構いるのですが、ラビュに乗って来たもののスタートがわからず、それで乗り物が好きだから人力車に！という方も多かったです。乗っていただいたお客様には「お願いしてよかった」「知らなかったことが知れた」と喜んでもらえますね。

人力車って乗り心地だけだと思われがちですが、僕はお店の情報や歴史の話、ガイドブックには載っていないようなスポットなど、その時の旬な秩父の情報を発信しています。人力車を通して、秩父の魅力が伝わったら嬉しいです。



人力車の思い出



十人十色のツアーをするのでそれ自体を喜んでくれますし、場合によってはお店の予約などコンシェルジュ的なこともします。人力車は目立つので、地元の人や手を振ってくれる方もいます。地元で溶け込んでいく雰囲気を楽しんでくれたらいいなと思います。

思い出に残る出来事

芝桜の時期に、道でおじいさんに「車で芝桜を見に来たが、駐車場がわからなくなっちゃった」と声をかけられました。せっかくなので、思い出に残る出来事だったので、何とかしてあげたかったんです。何か手掛かりを探そうとしたのですが、全くわからず……。でも、最終的に見つかることができました。その方にはすごく喜んでくれました。またまた行った場所ですが、こういった偶然の出会いで誰かの役に立てたのは嬉しそうです。



今後の展望

生活しているとどんどん秩父の知識がついてくるんですよ。それをプラン化して、より多くの皆さんにお伝えできるようにしたいと思っています。ディープな秩父をご案内するコースも作りたいですね。あと、人力車は僕が出られない日もあるので、課題としては俣夫さんを増やしたいです。(我こそはという方は是非！)



秩父はどんな街？ なるほど秩父弁！

秩父の魅力はやっぱり『人』じゃないですかね。あとは、観光名所もあり文化や自然もあり、東京からも程よい距離で、地震などの災害も比較的少ないです。とても暮らしやすい場所だと思います。僕は秩父が大好きなので友達にも移住を勧めるほどです！

とっくのまっく

意味：とっくにずっと前から

ちようきゅう

意味：びったり

15分～
1名様につき
2,000円

お客様のご希望に
合わせて
十人十色のプランを
ご提案します。

- ・人力車体験巡り
- ・秩父まちなか観光
- ・秩父礼所巡り
- ・秩父アニメ聖地巡礼
- ・神社・パワースポット巡り
- ・秩父夜祭巡り
- ・礼所&アニメ聖地ダブル巡礼

※事前にご予約をお願いいたします。
Webからのご予約は【ご利用の2日前まで】
にお申し込みをお願いいたします。
上記を過ぎた場合は、お電話にてご連絡
をお願いいたします。(TEL:080-6616-2358)

- ※体重制限は250kg
- ※未就学児は無料となります。
- ※人力車に乗りながらお食事をすることもできます。
- ※膝の上に抱えられれば、ペットも一緒に乗れます。
- ※婚礼・催事プランもあります。(HP参照)

坂本さんはアニメも詳しいので
聖地巡礼したい方はオススメ！



人力車 花鳥風月～秩父～



公式Instagram



公式HP

ご予約は
こちらから



pâtisserie



ISHINO
CHICHIBU

パティスリー
イシノ

石野翔さんと
石野実希さんに
お話ししました！

“贈りたくなるお菓子”
“季節を感じるお店”
を目指しています



事業を始めたきっかけ

翔さん…18歳で秩父を出て、千葉のお菓子工場に就職しました。もともとお菓子を作りたいというわけではなく、勤務条件が良かったから就職したのですが、秩父を離れたら実はすぐ帰りたくなってしまったんです。とはいえずぐには帰れないので、1年ぐらいいは続けようと思っていました。ある時、先輩が作ったウェディングケーキに衝撃を受け、「お菓子ってかっこいいな！」と思い、その時から本格的にお菓子の勉強を始めました。そこから秩父で自分のお店を持ちたいという夢ができました。開業に向けて、お菓子工場では5年働き、そのあと都内の有名店で8年修業しました。

師匠からは高価格帯で秩父でやっていけるのかと心配もされましたが、僕自身秩父に戻ることが目的でしたし、秩父で勝負すると決めたので迷いはなかったです。妻とはお菓子工場で出会い結婚しました。妻の支えもあり、2019年に秩父でパティスリーイシノをオープンすることができました。



思い出に残る出来事



翔さん…応援してくれるお客様の声が一番嬉しいですね。最近も「クッキーを作ってくれてありがとう」とか「どこに行っても喜ばれます」など嬉しい言葉をいただきました。都内から来たお客様からも「ここが美味しいわよ！」と言っていたこともあります。本当に嬉しいですし励みになっています。

実希さん…オープン当初、「私が流行らせるから！」と小さいギフトにして配ってくださったお客様がいて、すごくありがたかったです。そういつた方の応援のお陰で少しずつ振がったかなあと感じます。



お菓子作りへの
思い・こだわり

翔さん…お客様に対して真摯に向き合い、自分が美味しいと思うもの、きちんとしたものを作るといふブレない想いがあります。修業先で師匠から学んだことが全てで、今の自分のベースになっています。師匠は根っからの職人気質でしたが、お菓子の技術だけではなく、どんな気持ちで作るのか、仕事への向き合い方など様々なことを学びました。

おすすめ商品



サブレサンド缶



メープルクッキー缶

サブレサンド缶とメープルクッキー缶はふるさと納税の返礼品にもなっています。



かぼすケーキ

実希さん：「秩父でしか買えない焼菓子が欲しい」というお客様の声がかきつけて生まれた商品です。知り合いの方から規格外のかぼすで作ったピューレをいただき、それを使ってできたのがこのかぼすケーキです。

Excellent!



秩父はどんな街？

翔さん：市街地に住んでいるので自転車や徒歩でもスーパーに行けちゃいます。割とコンパクトシティかなと思います。少し行けば自然があるのもいいですね。

実希さん：子育てにはいい場所だなあと感じます。道も広くて人の多さも程々ですし、人との繋がりが多いところも良いなあと感じます。

なるほど秩父弁！

「もちにいく」意味：取りに行く

(ただ持つのではなく、取りに行くという意味)

今後の展望

翔さん：一番はお店を続けていけるように、手と目が届く範囲でお菓子作りを続けていきたいですね。僕が修業時代に会った感動を、これからもお菓子を通して届けられたらと思います。

実希さん：都内の催事イベントなどにも出店したいという想いがあります。より多くのお客様と出会い、広めていけたら嬉しいです。



pâtisserie ISHINO

パティスリー イシノ

秩父市熊木町15-2

営業時間 10:00～17:00

定休日 月・火



公式 HP



公式Instagram

【編集後記】私は元パン職人で、パソコン作業が苦手なアナログ人間でした笑。でも、今では当たり前のようにパソコンを使っています。習うより慣れる、ですね。このニュースレターも自分で編集できるようになりつづきます。(那賀)

ひろがる、ちちふ

VOL.4

2024.10.01